**住まいづくりネットワーク九州・沖縄**

**設計施工基準チェックシート≪木造≫**

**まもりすまい保険設計施工基準に加え、住まいづくりネットワーク九州・沖縄の設計施工基準に適合するよう、下記のとおり設計施工します。**

**Ａタイプ：基礎高400㎜＋外壁通気工法とするタイプ**

|  |  |
| --- | --- |
| 基礎高さ | * ＧＬ＋400㎜以上（設計施工基準第5条）
 |
| 外壁通気工法 | * 外壁通気構造等
 |

**Ｂタイプ：住宅性能評価基準の劣化対策等級２相当とするタイプ**

|  |  |
| --- | --- |
| 基礎高さ | □ＧＬ＋４00㎜以上（設計施工基準第５条） |
| 外壁の軸組等の防腐・防蟻　　　　　 | ＧＬ～１ｍの範囲 | 柱：**次のいずれか**□耐久性区分Ｄ1のうち高い耐久性　 □小径12㎝以上　□薬剤処理 |
| 柱以外の軸組材：**次のいずれか**□薬剤処理　□耐久性区分Ｄ1  |
| 合板：□薬剤処理 |
| 土台の防腐・防蟻対策 | * 土台に接する外壁下端に水切設置
 |
| * 薬剤処理（Ｋ3以上）
* 耐久性区分Ｄ1　　　　　　　の**いずれか**
 |
| 浴室・脱衣室の防水**(右記のいずれか)** | * 防水上有効な措置（耐水下地、防水仕上、薬剤処理等）
 |
| * ユニットバス設置
 |
| 地盤の防蟻　　　　**（右記のいずれか）** | * ベタ基礎又は布基礎と一体の土間コンクリート
 |
| * 土壌処理
 |
| 床下の防湿・換気 | * 60㎜以上の防湿コンクリート（ベタ基礎等）又は

0.1㎜以上の防湿フィルム |
| * 床下換気孔又はねこ土台（基礎断熱工法等の場合を除く。）
 |
| 小屋裏換気　　　　**※屋根断熱工法等の場合を除く** | * 小屋裏ごとに2か所以上の換気孔
 |
| 有効面積：天井面積に対し、次のいずれか* 両妻壁給排気孔　　　　　　　　　　合計　1/300以上
 |
| * 軒裏給排気孔　　　　　　　　　　　合計　1/250以上
 |
| * 給気孔と排気孔の高低差900ｍｍ以上 各 　1/900以上
 |
| * 排気塔又は棟排気＋給気孔
 | 排気孔 1/1600以上給気孔　1/900以上 |

**事業者番号**

**事業者名**

**住まいづくりネットワーク九州・沖縄**

**設計施工基準チェックシート≪RC・SRC造≫**

**まもりすまい保険設計施工基準に加え、住まいづくりネットワーク九州・沖縄の設計施工基準に適合するよう、下記のとおり設計施工します。**

**○コンクリートの品質等**

|  |  |
| --- | --- |
| 　　　　部　　位 | 　　　　　　　　仕　　　　様 |
| 使用するセメント**（右記のいずれか）** | □ポルトランドセメント（日本工業規格R5210)□フライアッシュセメント（日本工業規格R521３)□高炉セメント（日本工業規格R521１) |
| コンクリートのスランプ**（右記のいずれか）** | □コンクリート強度が33N／㎟未満：18cm以下□コンクリート強度が33N／㎟以上：21cm以下 |
| コンクリートの単位水量 | □185kg／㎥以下 |
| コンクリート中の空気量 | □４％～6％（※日最低気温の平滑平均値の年間極値が0℃を下回る場合） |

**○最少かぶり厚さ （A欄、B欄のいずれかによる）**

|  |  |
| --- | --- |
| 　　　　　部　　　　　位 | 　　　　　　仕　　　様 |
| □A | 　　　□B |
| 普通コンクリートの水セメント比 | □55％以下 | □60％以下 |
| 直接土に接しない部分 | 耐力壁以外の壁、床、屋根 | 屋 内 | 20㎜以上 | 30mm以上 |
| 屋 外 | 30mm以上 | 40mm以上 |
| 直接土に接する部分 | 耐力壁、柱、梁 | 屋 内 | 30mm以上 | 40mm以上 |
| 屋 外 | 40mm以上 | 50mm以上 |
| 直接土に接する部分 | 壁、柱、梁、基礎の立ち上がり部分 | 40mm以上 | 50mm以上 |
| 基礎（立上が部分、捨てコンクリート部分を除く） | 60mm以上 | 70mm以上 |

　※外壁、屋根で屋外に面する部位をタイル貼り、モルタル塗り、外断熱工法による仕上げとする場合は、屋外側の部分に限り10㎜減ずることができる。

**事業者番号**

**事業者名**

**住まいづくりネットワーク九州・沖縄**

**設計施工基準チェックシート≪S造≫**

**まもりすまい保険設計施工基準に加え、住まいづくりネットワーク九州・沖縄の設計施工基準に適合するよう、下記のとおり設計施工します。**

**○防錆措置**

**＜構造耐力上主要な部分（柱、はり、筋かい）＞**

|  |  |
| --- | --- |
| 部　　位 | 仕　　様 |
| 最下階の柱脚部 | ｺﾝｸﾘｰﾄに埋設される | ｺﾝｸﾘｰﾄの上端から下方１０㎝～上方１ｍ | * 最小厚：９㎜以上かつ

ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾌﾟﾗｲﾏｰ１回以上塗装 |
| 上記以外 | 当該鋼材下端から上方1ｍの範囲 | * 上記と同等以上の防錆措置
 |
| 上記以外（右記のいずれか） | * 最小厚：９㎜以上
 |
| * 最小厚6㎜以上ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾌﾟﾗｲﾏｰ１回以上
 |
| * 上記と同等以上の防錆措置
 |

**＜構造耐力上主要な部分（柱、はり、筋かい以外）＞**

|  |  |
| --- | --- |
| 部　　位 | 仕　　様 |
| 柱、はり、筋かい以外（右記のいずれか） | * 最小厚：９㎜以上
 |
| * 鉛系さび止めﾍﾟｲﾝﾄ2回以上塗布
 |
| * 上記と同等以上の防錆措置
 |

**○その他**

|  |  |
| --- | --- |
| 部　　位 | 仕　　様 |
| 床下防湿（右記のいずれか） | * ベタ基礎
 |
| * 60㎜以上の防湿コンクリート
 |
| * 0.1㎜以上の防湿フィルム
 |
| 床下換気（右記のいずれか） | * 基礎断熱
 |
| * 外周４ｍ以内ごとに300cm2以上の床下換気孔
 |
| * ねこ土台
 |
| 小屋裏換気　　　　**※屋根断熱工法等の場合を除く** | * 小屋裏ごとに2か所以上の換気孔
 |
| 有効面積：天井面積に対し、次のいずれか* 両妻壁給排気孔　　　　　　　　　　　　合計　1/300以上
 |
| * 軒裏給排気孔　　　　　　　　　　　　　合計　1/250以上
 |
| * 給気孔と排気孔の高低差900ｍｍ以上　　　各 　1/900以上
 |
| * 排気塔又は棟排気＋給気孔
 | 排気孔 1/1600以上給気孔　1/900以上 |

**事業者番号**

**事 業 者 名**

**住まいづくりネットワーク九州・沖縄**

**設計施工基準チェックシート≪CB造≫**

**まもりすまい保険設計施工基準に加え、住まいづくりネットワーク九州・沖縄の設計施工基準に適合するよう、下記のとおり設計施工します。**

**□コンクリート及び目地モルタルの品質等**

|  |  |
| --- | --- |
| 　　　　部　　位 | 　　　　　　　　仕　　　　様 |
| 使用するセメント（右記のいずれか） | □ポルトランドセメント（日本工業規格R5210)□フライアッシュセメント（日本工業規格R521３)□高炉セメント（日本工業規格R521１) |
| コンクリートブロックの圧縮強さ | □16N／ｍ㎡以上 |
| 目地モルタルの水セメント比 | □55%以下 |

**□最少有効かぶり厚さ （A欄、B欄のいずれかによる）**

|  |  |
| --- | --- |
| 　　　　　部　　　　　位 | 　　　　　　仕　　　様 |
| □A | 　　　□B |
| 普通コンクリートの水セメント比 | □55％以下 | □60％以下 |
| 屋 内 側 の 部 分 | 20㎜以上 | 30mm以上 |
| 屋 外 側 の 部 分 | 30mm以上 | 40mm以上 |

　※外壁、屋根で屋外に面する部位をタイル貼り、モルタル塗り、外断熱工法による仕上げとする場合は、屋外側の部分に限り10㎜減ずることができる。

**□雨水浸透対策**

|  |  |
| --- | --- |
| 　　　　部　　位 | 　　　　　　　　仕　　　　様 |
| 外壁の屋外側 | □タイル張り　□モルタル塗　□外断熱工法による仕上げ□防水形外装薄塗材E、複層仕上塗材（日本工業規格A6909)□防水形外装厚塗材E（日本工業規格A6909)□外壁用塗膜防水材（日本工業規格A6021）□その他同等以上の性能を有する処理 |

**事業者番号**

**事業者名**